

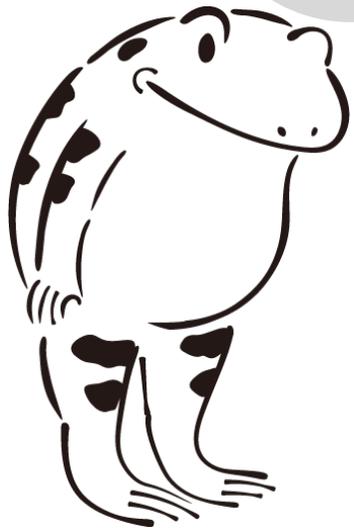


ジャーナルへのDOI登録代行

三美印刷株式会社 芳賀安史

2021年12月23日

ジャパンリンクセンター「対話・共創の場」(第8回)



目次

- ・ 三美印刷について
- ・ データセットとしての組版
- ・ 三美印刷とDOIの関わり
- ・ J-STAGE掲載実績
- ・ JaLC DOI登録事例
- ・ あったらいいなJaLC機能
- ・ まとめ



三美印刷について

- ・ 西日暮里にある印刷会社です。
- ・ 創業1895年、設立1949年のいわゆる老舗印刷会社です。
- ・ 学協会・大学・出版社様とお取引しています。

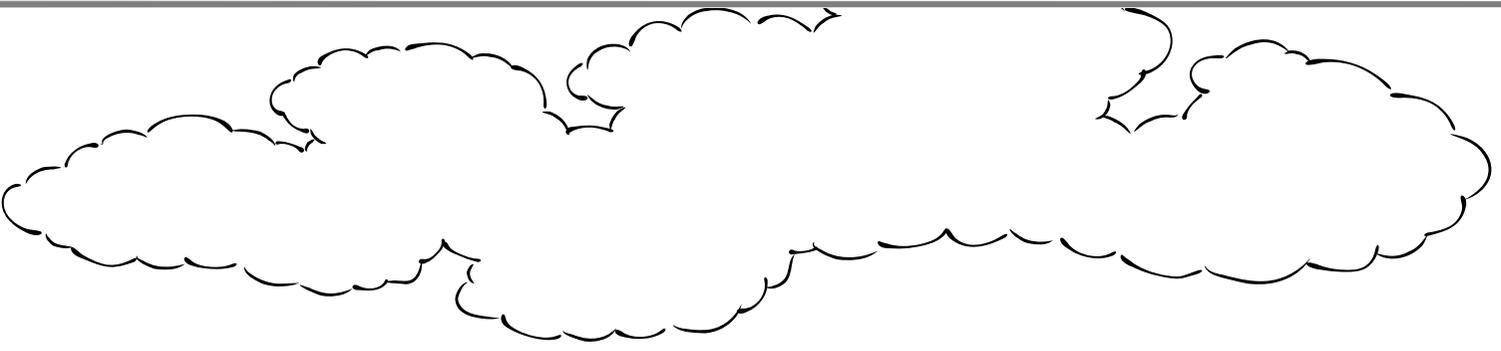


三美印刷について

- 神田で設立した経緯もあり、大学や出版社様などとお取引多数
- 昔は理工系の学術誌や論文集の数式活字組版
- 現在もTeXをはじめとする数式に特化した組版サービスを提供



データセットとしての組版(1)



今も昔もデータ (情報) セット (整理)

偽

$$\text{\$sin}^2 x + \text{\$cos}^2 = 1\text{\$}$$

$$\sin^2 x + \cos^2 x = 1$$

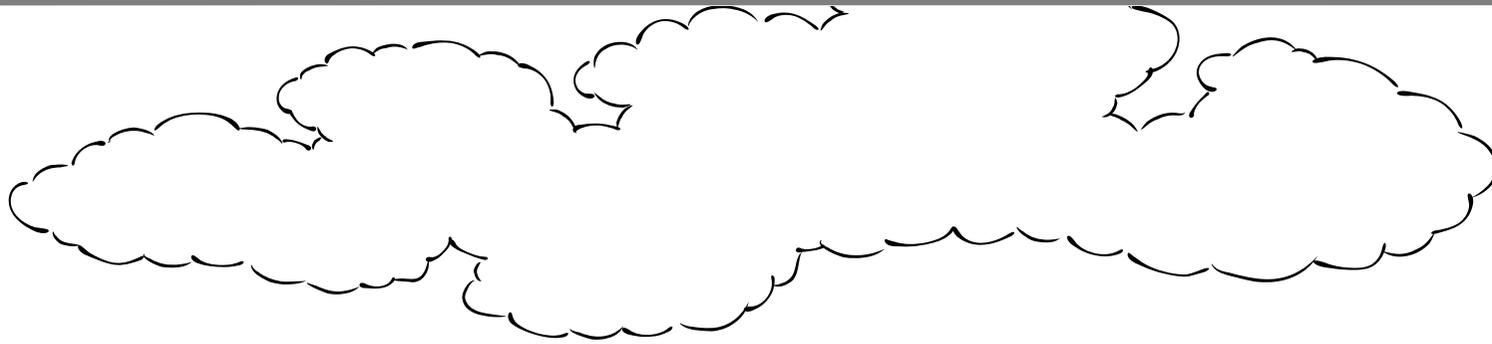
正

$$\text{\$}\sin^2 x + \text{\$}\cos^2 x = 1\text{\$}$$

$$\sin^2 x + \cos^2 x = 1$$



データセットとしての組版(3)



偽

\$これを $y=f(x)$ と表す\$とき

これを $y = f(x)$ と表すとき

正

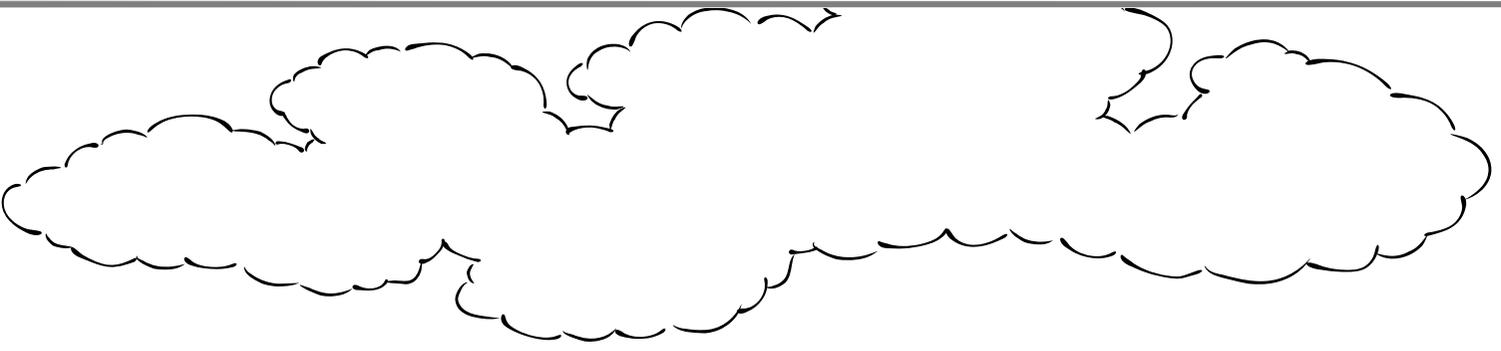
これを $y=f(x)$ と表すとき

これを $y = f(x)$ と表すとき

粒度も重要、精度も重要



三美印刷とDOIの関わり(1)



JdLCとJ-STAGEの位置付け



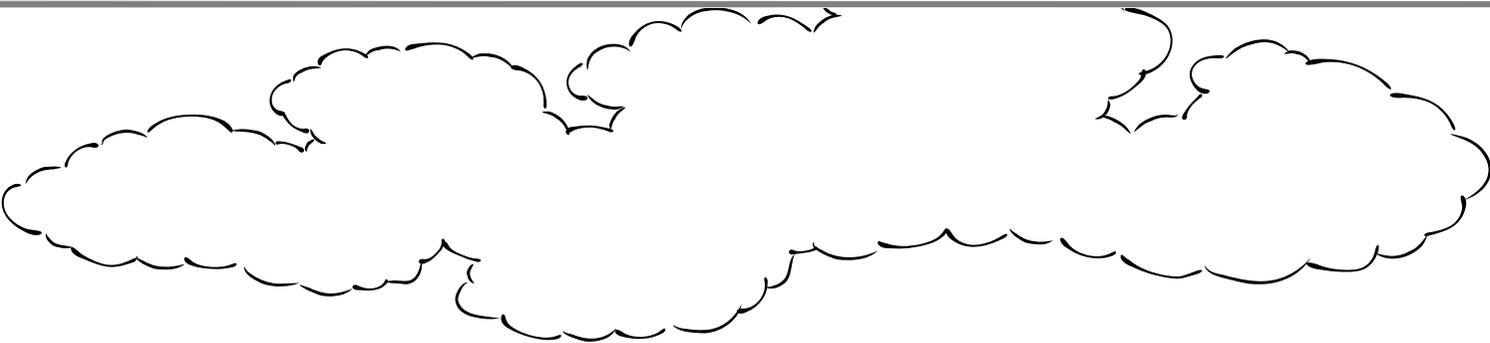
DOIデポジット＋公開プラットフォーム



DOIデポジット



三美印刷とDOIの関わり(2)



年	内容		備考
2003年	J-STAGE掲載開始		
2004年	Crossref加入		
2005年	Crossref DOIデポジット開始		独自公開プラットフォームにて発行の英文誌へDOI付与
2014年	JaLC正会員登録		
2014年	JaLC DOIデポジット開始		DOI付与代行サービスの開始



J-STAGE登載実績

直近5年の登載件数

年	登載件数
2016年	6,853件
2017年	7,969件
2018年	7,333件
2019年	9,495件
2020年	8,250件

累計および1日あたりの登載件数

2003年から2021年12月までの累計件数	144,286件
J-STAGE公開総件数	5,317,915件
弊社登載割合	2.71%
弊社1日あたりの公開件数	約30件

JaLC DOI登録事例 (I)

電子情報通信学会様 和文論文誌

電子情報
通信学会 論文誌

基礎・境界

電子情報
通信学会 論文誌

通信

電子情報
通信学会 論文誌

エレクトロニクス

電子情報
通信学会 論文誌

情報・システム

- ・ SSO連携による横断的閲覧機能
- ・ PPV・機関認証・会員認証
- ・ 会員ランクに応じた閲覧制御

【登載方法】

組版 (TeX) ソースよりXML生成およびDOI
デポジット

ご利用の環境では、が閲覧できるライセンスとなっております。
個人のライセンスで閲覧する場合は、左サイドメニューから認証終了後、登録コンテンツであれば、閲覧することが出来ます。

スパースアレー受信信号の拡張と位相復元による適応ビームフォーミング

森本 慎也 岩崎 翔 市毛 弘一

誌名

電子情報通信学会論文誌 A Vol.J104-A No.12 pp.250-257

発行日: 2021/12/01

早期公開日: 2021/07/14

Online ISSN: 1881-0105

DOI: 10.14923/transfunj.2021JAP1014

論文種別: 論文

専門分野: デジタル信号処理

キーワード:

[スパースアレー](#), [適応ビームフォーミング](#), [Khatri-Rao積拡張処理](#),

本文: [PDF\(10.1MB\)](#)

あらまし:

本論文では、スパースアレーアンテナの受信信号に対する適応ビームフォーミング手法、並びに仮想アレー受信信号の復調手法を提案する。著者らはこれまでに、実アレーの受信信号にKhatri-Rao (KR)積拡張処理を適用することで、到来方向(Direction-Of-Arrival; DOA)推定並びに適応ビームフォーミング性能の向上を確認している。しかしながら、デジタル変調システムに仮想信号を用いる際には、仮想信号特有の性質から、実アレー領域の処理をそのまま採用することはできない。本論文では、拡張後の仮想信号に対応した新たな適応ビームフォーミング手法を検討し、仮想信号の復調時に位相情報を復元することによって、ビームフォーミング性能の改善を試みる。提案するビームフォーミング手法の性能は、計算機シミュレーションにより評価される。

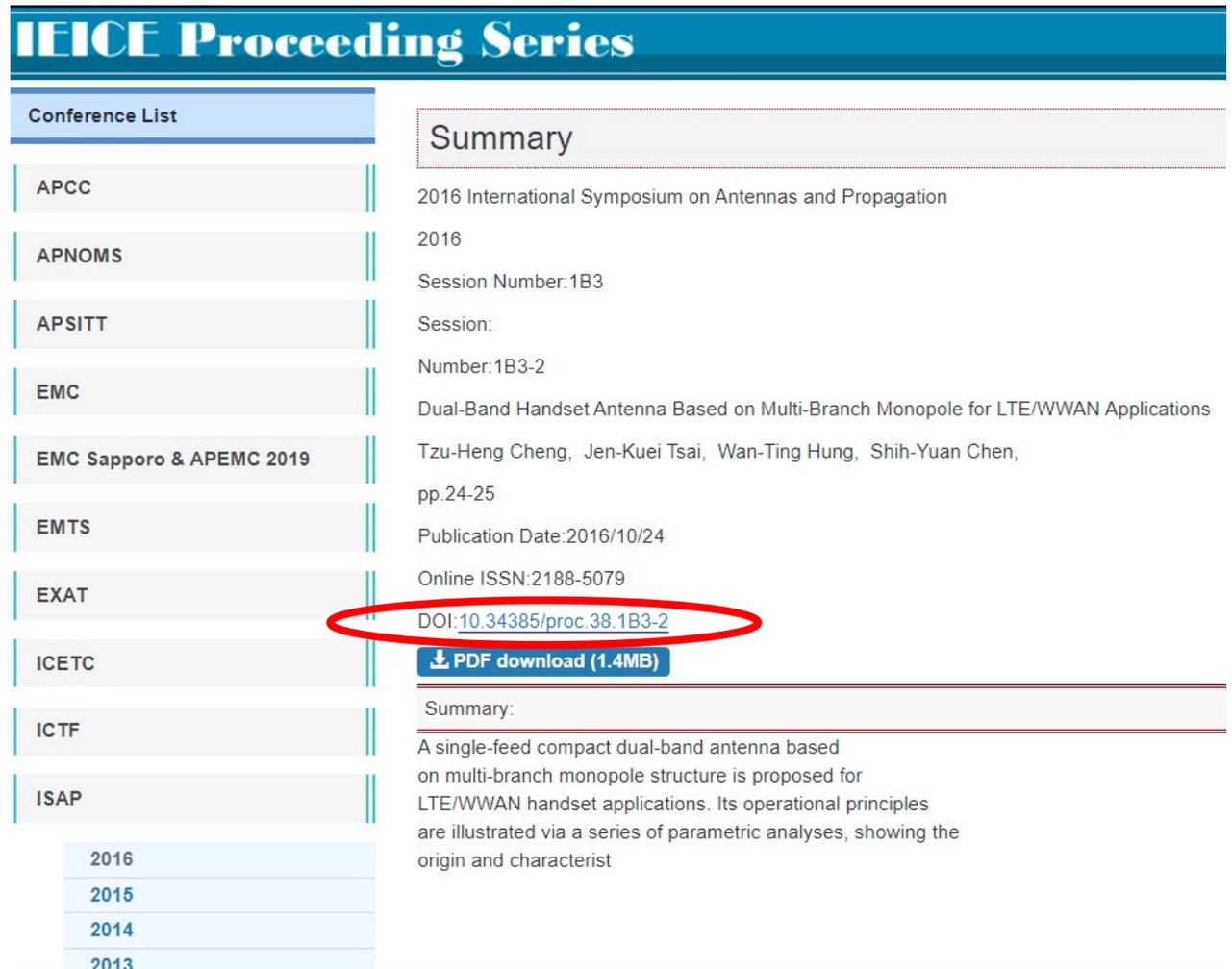
JaLC DOI登録事例 (2)

電子情報通信学会様 国際会議 IEICE Proceeding Series

・ 散逸していた各国際会議を
Proceedingシリーズとして収録

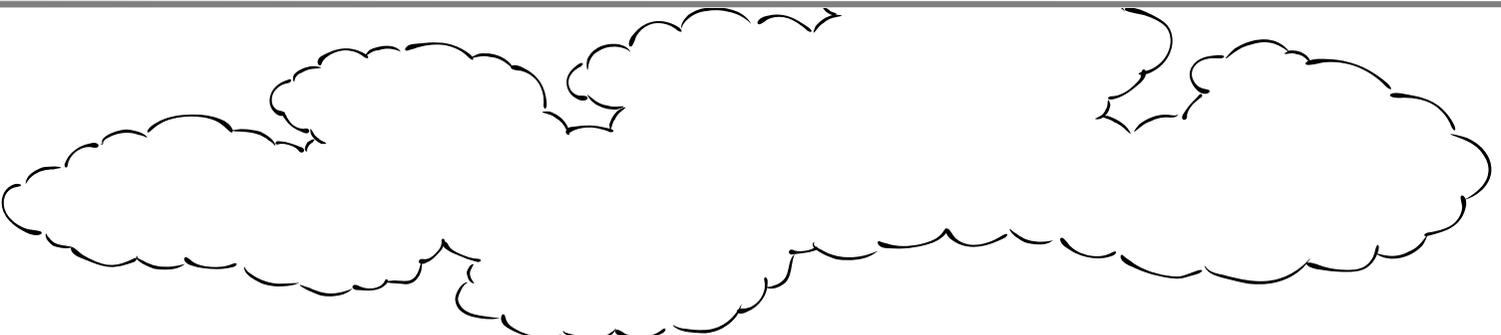
【登載方法】

既定のCSVファイルよりXML生成
およびDOIデポジット



The screenshot shows the IEICE Proceeding Series website. On the left is a 'Conference List' with entries for APCC, APNOMS, APSITT, EMC, EMC Sapporo & APEMC 2019, EMTS, EXAT, ICETC, ICTF, and ISAP. Below this list are year filters for 2016, 2015, 2014, and 2013. The right side displays a 'Summary' for the 2016 International Symposium on Antennas and Propagation, Session Number: 1B3, Number: 1B3-2. The summary text describes a dual-band handset antenna. The DOI [10.34385/proc.38.1B3-2](https://doi.org/10.34385/proc.38.1B3-2) is circled in red. A 'PDF download (1.4MB)' button is visible below the summary.

JaLC DOI登録事例 (3)



JaLC DOI 登録件数

累計14,959件*の登録実績

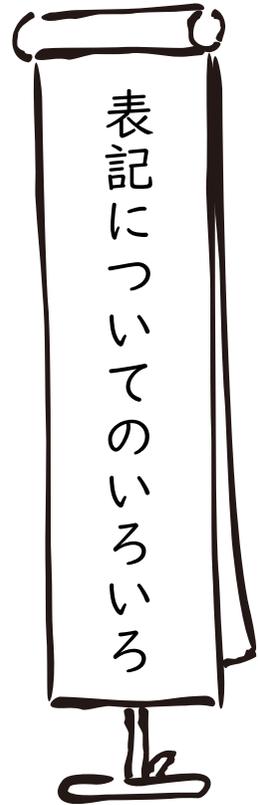


*Japan Link Center 正会員別DOI登録件数より抜粋

URL:<https://japanlinkcenter.org/top/doc/SummaryofDOIdeposits.pdf>



JaLC DOI登録事例 (4)



- 欧文表記

System かSystems、Technology かTechnologies、Laboratory かLaboratories

- 和文のローマ字表記

[si]なのか[shi]なのか

島津製作所：○Shimadzu ×ShimazuやShimadu

- 和文表記

Canon：○キャノン ×キャノン

まれに

○ National Institute of Informatics

× National Institute of Information



あったらいいなJaLC機能

DOI Citation Formatterの拡充（拡張？）

DOI Citation Formatter

Paste your DOI:

10.14923/transinfj.2019JDP7020

For example 10.1145/2783446.2783605

Select Formatting Style:

japanese-journal-of-applied-physics

Begin typing (e.g. Chicago or IEEE.) or use the drop down menu.

Select Language and Country:

ja-JP

Begin typing (e.g. en-GB for English, Great Britain) or use the drop down menu.

Format

1)永井秀幸 and 倉橋節也, 電子情報通信学会論文誌D 情報・システム, 2019, J102-D, 750-758.

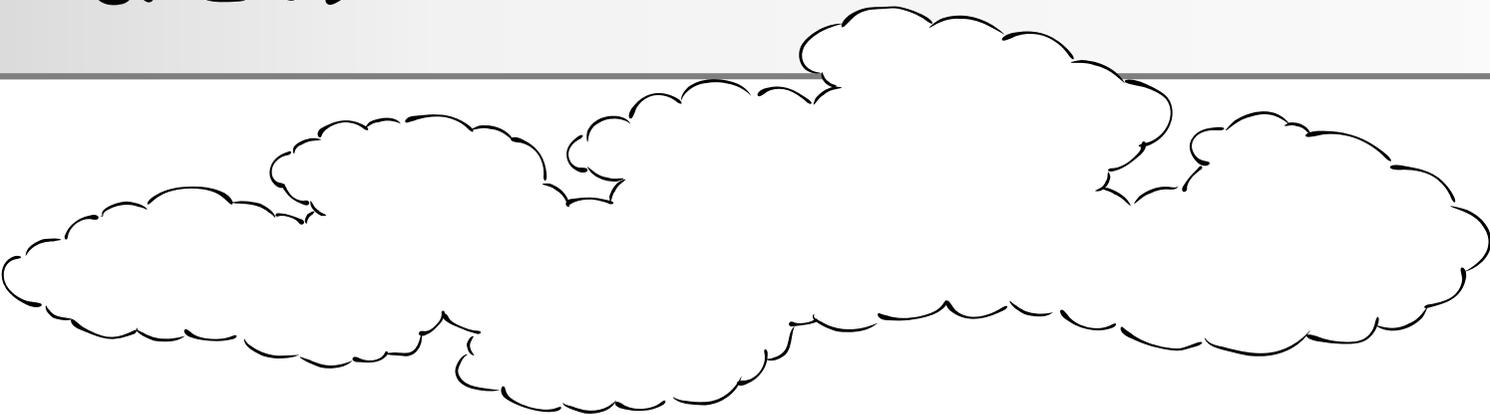
Copy to clipboard

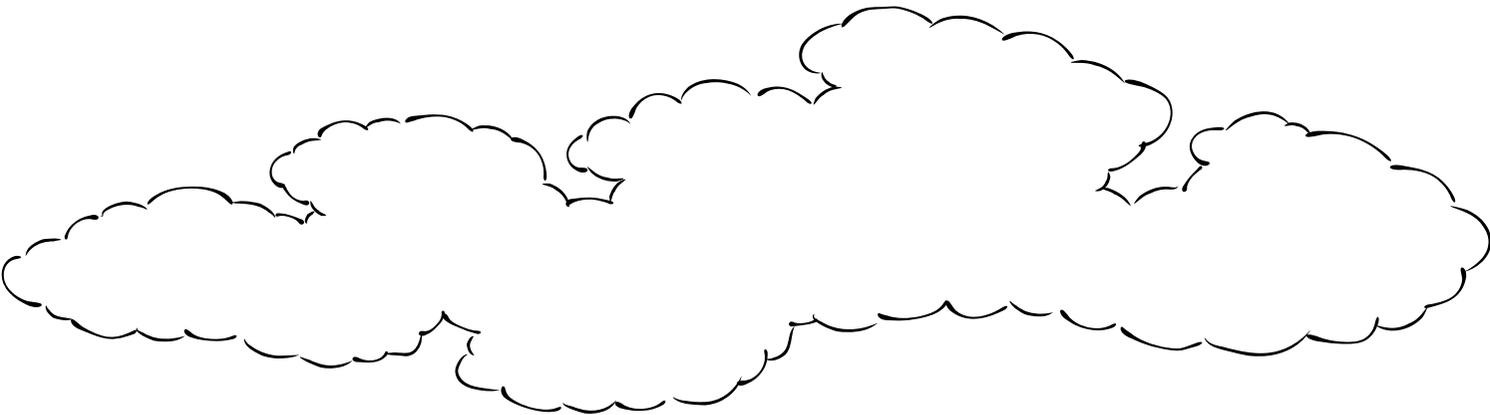
Do you want to integrate this service? Check the [Documentation](#)

DOI Registration Agencies



まとめ

- 
- ・ データの粒度・精度の両面でサポート
 - ・ 独自公開プラットフォームでのDOI付与
 - ・ 機能拡充によるDOI普及の加速を期待
- 



ご清聴ありがとうございました

